

令和5年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

熊本県

行事名称	八千代座自衛消防訓練（文化財防火デー）
実施期間・日時	令和6年1月24日（水）11:00～11:30
実施場所	国指定重要文化財 八千代座（熊本県山鹿市山鹿1499）
主催者	一般財団法人山鹿市地域振興公社（山鹿市教育委員会共催）

■実施内容

訓練の想定

約400名の観客が入場した公演中に1階電気室（舞台裏）で火災が発生、同時に電気系統の破損により停電が発生したと想定。

訓練の内容

八千代座の指定管理者である一般財団法人山鹿市地域振興公社の係員が火災場所を確認。火災報知器の発報後、消防署へ通報するとともに、屋内での初期消火活動を実施。

同時に観客の避難誘導（係員及び公演主催団体の担当者が避難路を確保し、避難誘導担当者が誘導する）を実施。

参加者及び役割分担

一般財団法人山鹿市地域振興公社職員（7名）：通報、初期消火、避難誘導

山鹿消防署（3名）：講評

山鹿市立山鹿小学校6年生（教員8名、児童144名）：公演観客（避難）役

山鹿市教育委員会職員（1名）：訓練立会

特に工夫した点

公演観客（避難）役として、卒業公演の練習で八千代座を使用している山鹿小学校6年生児童及び教員に訓練参加を呼び掛けた。

問題点・課題

コロナ禍前のように、もう少し参加対象者を増やし、地元消防団や地元住民にも参加を促せると良かった。

その他

毎年、文化財防火デーにあわせて消防訓練を行うことで、関係者の文化財保護意識を高め、防災の必要性を確認する機会となっている。

また、地元小学校の卒業公演の練習期間と重なることから、児童を訓練に参加させることで若い世代に対しても地域防災に関心を持ってもらうきっかけとなっている。今後も引き続き関係者と連携しながら実施したい。

訓練風景



避難誘導



消防署からの講評